

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	宇治市家庭教育支援チーム (呼称: はんな rin 子育て)
②活動拠点	生涯学習センター第3ホール
③活動範囲	宇治市と近隣市
④組織体制	30 人 生活倫理相談士 7名、元教員 1名 ママさんサポーター 10名(現在子育て中のお母さんたち) 託児係 12名
⑤活動開始年度	平成 15 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) はんな rin 子育て 西川 成子 (TEL) 050-7118-0023 (E-mail) pure_sei22@zeus.eonet.ne.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援 <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>「はんな rin 子育て」</p> <p>私たちは毎月1回宇治市の教育委員会の後援を受け、講師によるテーマに沿った講話や参加者の子育てに関する悩みを共有する場を設けています。対象は妊婦さんから小学生のお子様をもつ保護者です。また、質問や悩みを講師に聞いていただきアドバイスを受け、セミナー後に個人相談もできます。セミナー終了後には講師を囲んで食事会を開催し、気軽に話し合える場も設けております。</p> <p>また、公立幼稚園「東宇治幼稚園」でも保護者向けに同様のセミナーを実施しています。</p>



「子供倫理塾」
 こちらは小学生以上の子供がメインで「遊び」「学び」「しつけ」を3本柱に子供たちが楽しめる企画を実施しています。具体的には、季節に合わせた工作(七夕や鯉のぼりづくり)や、読み聞かせ、家庭倫理の会に所属する短歌講師の協力を得て短歌づくりを楽しみ、文部科学省後援の「子供短歌コンクール」にも応募しています。楽しむ中であいさつや返事、後片付けや物の大切さ、おやつの時間を作り、食べ物への感謝の気持ちなどを自然に身に付けて行きます。できるだけ子供の自主性を伸ばせるよう取り組んでいます。年5回の開催予定です。



④活動の成果
 (活動実績がある場合)

「はんな rin 子育て」の参加者からは、「悩みを打ち明けることで楽になった」「次回の開催が楽しみ」と喜ばれています。また、講師に具体的なアドバイスももらって実践した結果、「気持ちに余裕ができ、自然と子どもを褒めることが出来るようになった」というお母さんもいらっしゃいます。
 「子供倫理塾」では、学校、学年を超えた参加のため、最初は話しづらかった子供も最後にはどの子供とも友達になり、積極的に内容に取り組むようになっていきます。

⑤活動財源

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
 (主催の家庭倫理の会より予算を組んでいただき活動しております。)